

社会科副読本「消防のしごと」の全国消防広報コンクール最優秀賞受賞について

市消防局で作製した副読本「消防のしごと」（平成16年度版）が、このたび、第7回全国消防広報コンクールの「広報紙部門」において、全国54点の応募の中から「最優秀賞」（消防庁長官表彰）を受賞しました。

また、同コンクールの「ホームページ部門」においても、市消防局のホームページが、「入選」を果たしました。【アドレス：<http://www.city.sapporo.jp/shobo/>】

1 副読本「消防のしごと」の概要

市内の小学校4年生の社会科の授業で使用される副読本で、小学生に火災予防と消防の知識を深めてもらおうと、昭和63年度から作製しているもの。平成16年度版の内容は、平成15年中の火災事例や119番通報を受けてから出動するまでの流れなどのほか、家庭で起こり得る火災事例や予防策などを、キャラクターが各項目を紹介する構成になっています。

また、平成15年度から行っている本市消防士による体験型の出前授業「教えて！ファイヤーマン」の教材としても使用しています。

2 選定理由（第7回全国消防広報コンクール審査評 抜粋）

？ 副読本「消防のしごと」：「広報紙部門」最優秀賞

消防防災行政の概要と災害予防啓発を、児童に向けて発信された冊子は、豊富な視覚表現が施されている。また、キャラクターを設定し、各ページに登場させることで興味をわかせる工夫が感じられる作品である。訴求を図る情報も見開きごとに完結しており、上手にページ構成が施されている。児童の視点に立った編集技量が高く評価され、最優秀賞に推挙された。

？ 札幌市消防局ホームページ：「ホームページ部門」入選

各ページの情報をきれいにまとめ上げ、視覚的に計算されたデザインが施されている。それは、コンテンツごとに整理された文字情報と、写真・イラストを活用した表現に見てとれる。一方、各コーナーのコンテンツも充実している。表現技量が光るホームページである。

3 第7回全国消防コンクールの概要

目的	消防行政を推進する上で重要な役割を果たしている消防広報の向上に資するため、優秀な作品を全国的に紹介し、各団体における広報技術の向上を図るとともに、消防防災行政の推進に寄与することです。 平成10年に自治体消防制度発足50周年を記念して設けられたもので、今回が第7回目となります。
対象	全国の消防本部・消防団が平成15年度中に発行・発表・掲載した広報紙・広報写真・広報ポスター・広報カレンダー・ホームページ
審査方法	作品別に「広報紙部門」、「広報写真部門」、「広報ポスター・広報カレンダー部門」、「ホームページ部門」の4部門に分け、7人の審査委員により審査する。

作品応募状況 と本市の受賞 状況	「広報紙部門」・・・54点 <u>「消防のしごと」最優秀賞</u> 「広報写真部門」・・・34点 「広報ポスター・広報カレンダー部門」・・・29点 「ホームページ部門」・・・26点 <u>「札幌市消防局ホームページ」入選</u> 応募作品合計 143点
------------------------	--

4 第7回全国消防広報コンクール表彰選考結果
別紙のとおり

5 副読本「消防のしごと」のホームページでの公開について
アドレス：(<http://www.city.sapporo.jp/shobo/bousai/kasai-yobou/shobono-shigoto/>)において、11月25日から公開。

<p>【問い合わせ先】 消防局予防部予防課 TEL 215-2040</p>
